

**セグロイナゴ**

岡山県：絶滅危惧Ⅱ類

バッタ目

*Shirakiacris shirakii* (Bolivar)

環境省：該当なし

バッタ科

**選定理由**

良好な原野の自然に生息するが、生息環境の消滅、変化に伴い絶滅が危惧される。

**存続を脅かす要因**

土地造成（宅地開発）、道路工事（林道工事）

**分布状況**

県内では主として南部から採集されているが、分布は局所的であり、近年特に減少傾向にある。

本州、四国、九州、対馬、佐渡島、壱岐、対馬、南西諸島；ロシア沿海州、中国、朝鮮半島、台湾、カシミール等に分布。



撮影：青野 孝昭

**生息情報**

体長（翅端まで）雄 35mm 前後、雌 26～40mm。幼虫、成虫共に複眼に6条の縦縞模様がある。胸背が濃い褐色をしており、同定は容易であり、別名セグロバッタとも言われている。堤防斜面や山の斜面など地表が深く覆われた草地に見られる。低湿地に比較的多い。分布は局所的である。年1化。成虫は8～11月に出現。

**特記事項**

保護のため、分布情報図は非公開とする。

文献番号 51, 53, 245

(近藤 光宏)



**トゲナナフシ**

岡山県：情報不足

ナナフシ目

*Neohirasea japonica* (de Haan)

環境省：該当なし

ナナフシムシ科

**選定理由**

分布が局限され、存続基盤が脆弱。

**存続を脅かす要因**

林相変化、産地局限

**分布状況**

県内では1907年頃すでに確認されているが、その後は長い間記録されないまま今日に至っていた。しかし1997年には県南で、1998年に県北部で記録されたが、既存の生息地、個体数は少ない。

本州、四国、九州のほか三宅、八丈、壱岐、五島、屋久島、奄美、沖縄などの島嶼部に分布。



撮影：近藤 光宏

**生息情報**

体長 60mm 内外。光沢のない黒褐色で、背面には多数の小さな棘があり、前胸の前部にも一対の長い棘がある。成虫は秋に出現し、様々な植物に潜むが、高い木には登らない。

**特記事項**

生態を示しておきたかったため、県外の写真を掲載することにした。写真は、2003年10月27日に滋賀県彦根市で撮影されたものである。

文献番号 1, 2, 151, 154

(近藤 光宏)

